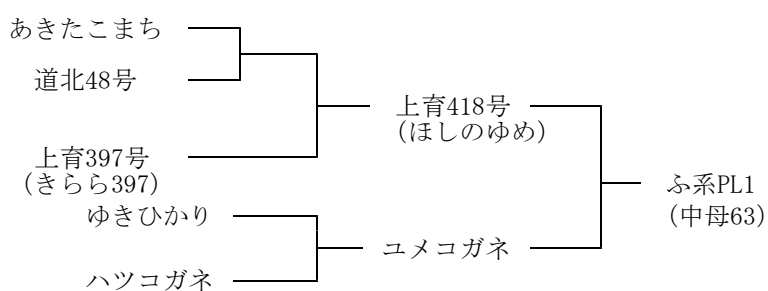


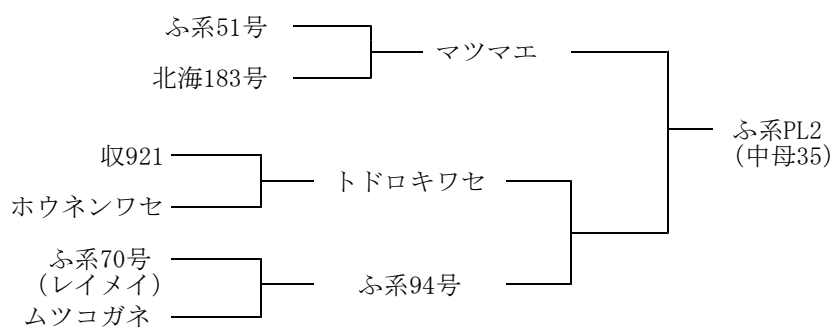
ふ系 P L 1 ～ 5

系統名	交配番号	交配組合せ
ふ系PL1 (中母63) 耐冷性中間母本 (ユメコガネ級、極強9)	藤交96-2	上育418号/ユメコガネ
ふ系PL2 (中母35) 耐冷性中間母本 (むつほまれ級、極強)	藤交71-95	マツマエ//トドロキワセ/ふ系94号
ふ系PL3 (中母64) 耐冷性中間母本 (むつほまれ級、極強9)	藤交98-49	青系135号/ふ系186号
ふ系PL4 (中母59) 耐冷性中間母本 (むつほまれ級、極強10)	藤交86-73	北海PL3/中母35
ふ系PL5 (中母65) 耐冷性中間母本 (むつほまれ級、極強11)	藤交97-207	中母59/東北155号

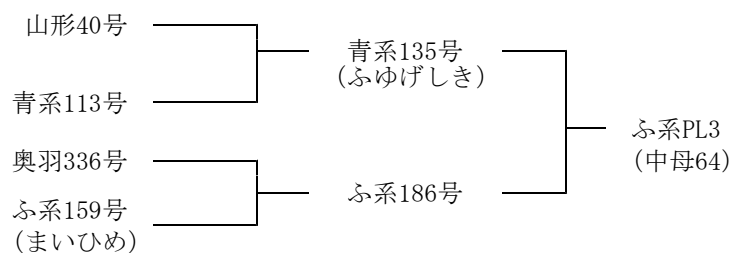
I 系譜図



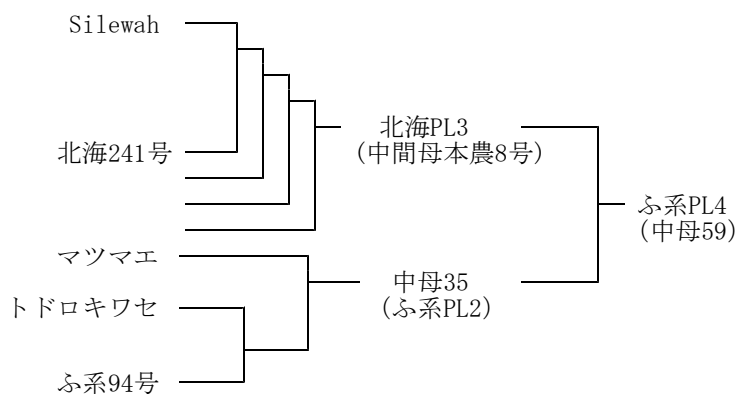
ふ系PL1の系譜図



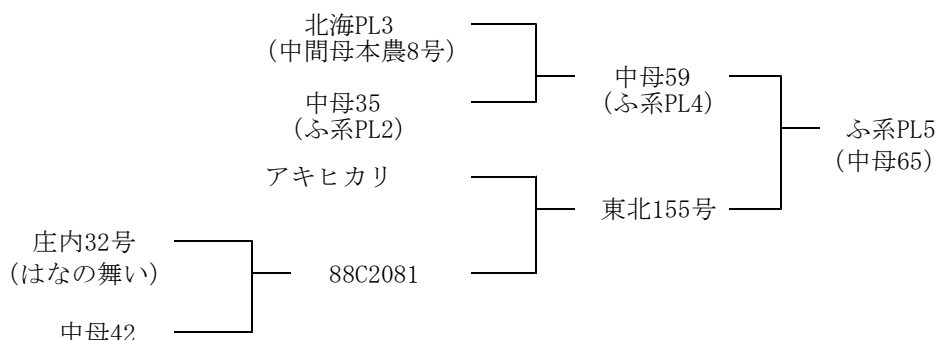
ふ系PL2の系譜図



ふ系PL3の系譜図



ふ系PL4の系譜図



ふ系PL5の系譜図

II 特性の概要

(1) ふ系PL1 (中母63)

「ふ系PL1」は、出穂期が「かけはし」より5日早く、成熟期が「かけはし」より6日早い“極早生”に属する。稈長、穂長とも「かけはし」より長く、穂数は「かけはし」並の“やや短稈”，“偏穂重型”の粳種である。苗丈は「かけはし」よりやや長く、苗の葉色は「かけはし」並である。最高分げつ期頃の草丈は「かけはし」より長く、茎数は「かけはし」並、葉色は「かけはし」並である。稈の細太は“中”，剛柔は“やや剛”で、倒伏抵抗性は「かけはし」よりやや劣る“やや強”である。粒着密度は“中”で、芒性は“短”の芒を“やや少”程度生じ、ふ先色は“白”である。収量性は「かけはし」より少収である。玄米は形状が“中”，大小は“やや小”で、千粒重は「かけはし」よりやや小さい。玄米品質は「かけはし」並の“中下”である。食味は「ユメコガネ」より優る“上下”である。耐冷性は“極強9”である。いもち病抵抗性については、真性抵抗性遺伝子型が*Pia, i, k, ta*と推定され、圃場抵抗性は葉いもちが“やや弱”，穂いもちは不明である。穂発芽性は“難”である。

(2) ふ系PL2 (中母35)

「ふ系PL2」は、出穂期が「まっしぐら」より1日早く、成熟期が「まっしぐら」より3日早い“中生の早”に属する。稈長、穂長とも「まっしぐら」並、穂数は「まっしぐら」より多い“短稈”，“偏穂重型”の粳種である。苗丈は「まっしぐら」よりやや短く「つがるロマン」並、苗の葉色は「まっしぐら」よりやや濃く「むつほまれ」並である。最高分げつ期頃の草丈、茎数は「まっしぐら」並、葉色は「まっしぐら」より濃い。稈の細太は“やや太”，剛柔は“やや剛”で、倒伏抵抗性は「まっしぐら」よりやや劣る“やや強”である。粒着密度は「まっしぐら」並の“やや密”で、芒が無く、ふ先色は“白”である。収量性は「まっしぐら」よりやや多収である。玄米は形状が“やや円”，大小は“やや大”で、千粒重は「まっしぐら」より大きい。玄米品質は「まっしぐら」「むつほまれ」に劣る“中中”である。食味は「まっしぐら」「かけはし」より明らかに劣る“下上”である。耐冷性は

“極強”である。いもち病抵抗性については、真性抵抗性遺伝子型が+と推定され、圃場抵抗性は葉いもちが“弱”，穂いもちが“強”から“極強”である。穂発芽性は“中”から“やや難”である。

(3) ふ系PL3（中母64）

「ふ系PL3」は、出穂期が「まっしぐら」並，成熟期が「まっしぐら」より2日遅い“中生の早”に属する。稈長，穂長，穂数は「まっしぐら」並の“短稈”，“偏穂重型”の粳種である。苗丈は「まっしぐら」よりやや短く，苗の葉色は「まっしぐら」よりやや濃い。最高分げつ期頃の草丈は「まっしぐら」より短く，茎数は「まっしぐら」より少なく，葉色は「まっしぐら」より濃い。稈の細太は“やや太”，剛柔は“剛”で，倒伏抵抗性は「まっしぐら」並の“強”である。粒着密度は「まっしぐら」並の“やや密”で，芒性は“やや短”の芒を“やや少”程度生じ，ふ先色は“白”である。収量性は「まっしぐら」より少収である。玄米は形状が“中”，大小は“やや小”で，千粒重は「まっしぐら」並である。玄米品質は「まっしぐら」より優れる“上中”である。食味は「まっしぐら」より劣る“上下”である。耐冷性は“極強9”である。いもち病抵抗性については，真性抵抗性遺伝子型が*Pia*と推定され，圃場抵抗性は葉いもち，穂いもちともに“中”である。穂発芽性は“難”である。

(4) ふ系PL4（中母59）

「ふ系PL4」は，出穂期が「まっしぐら」並，成熟期が「まっしぐら」より4日早い“中生の早”に属する。稈長は「まっしぐら」より長く，穂長は「まっしぐら」並，穂数はやや多い“やや短稈”，“偏穂重型”の粳種である。苗丈は「まっしぐら」より短く「むつほまれ」並，苗の葉色は「まっしぐら」よりやや濃く「むつほまれ」並である。最高分げつ期頃の草丈，茎数は「まっしぐら」並，葉色は「まっしぐら」よりやや濃い。稈の細太は“やや太”，剛柔は“剛”で，倒伏抵抗性は「まっしぐら」並の“強”である。粒着密度は「まっしぐら」並の“やや密”で，芒は無く，ふ先色は“白”である。収量性は「まっしぐら」よりやや少収である。玄米は形状が“やや円”，大小は“やや大”で，千粒重は「まっしぐら」よりやや大きい。玄米品質は「まっしぐら」「むつほまれ」に劣る“中中”である。食味は「まっしぐら」より明らかに劣る“中下”である。耐冷性は“極強10”である。いもち病抵抗性については，真性抵抗性遺伝子型が*Pia*，*k*と推定され，圃場抵抗性は葉いもちが“極強”，穂いもちが不明である。穂発芽性は“やや易”である。

(5) ふ系PL5（中母65）

「ふ系PL5」は，出穂期が「まっしぐら」並，成熟期が「まっしぐら」より3日程度早い“中生の早”に属する。稈長は「まっしぐら」よりやや長く，穂長は「まっしぐら」並，穂数は「まっしぐら」より多い“やや短稈”，“中間型”の粳種である。苗丈は「まっしぐら」より長く，苗の葉色は「まっしぐら」並である。最高分げつ期頃の草丈，茎数，葉色はともに「まっしぐら」並である。稈の細太は“やや太”，剛柔は“やや剛”で，倒伏抵抗性は「まっしぐら」よりやや劣る“やや強”である。粒着密度は「まっしぐら」より粗粒の“中”で，芒性は“極短”の芒を“極少”程度生じ，ふ先色は“白”である。収量性は「まっしぐら」より少収である。玄米は形状が“中”，大小は“やや小”で，千粒重は「まっしぐら」並である。玄米品質は「まっしぐら」「むつほまれ」に劣る“中中”である。食味は「まっしぐら」より劣る“中中”である。耐冷性は“極強11”である。いもち病抵抗性については，真性抵抗性遺伝子型が*Pia*と推定され，圃場抵抗性は葉いもち，穂いもちともに“強”である。穂発芽性は“やや易”から“易”である。

Ⅲ 試験成績

1. 特性調査成績

系 統 名 及 び 品 種 名	稈		芒		ふ先色	粒着 疎密	脱粒 難易	玄 米	
	細太	剛柔	多少	長短				形状	大小
ふ系PL1 かけはし ユメコガネ	中 中 中	やや剛 やや剛 やや剛	やや少 稀 少	短 極短 短	白 白 白	中 やや密 中	難 難 難	中 中 中	やや小 やや大 中
ふ系PL2	やや太	やや剛	無	一	白	やや密	難	やや円	やや大
ふ系PL3	太	剛	やや少	やや短	白	やや密	難	中	やや小
ふ系PL4	太	剛	無	一	白	やや密	難	やや円	やや大
ふ系PL5	やや太	やや剛	極少	極短	白	中	難	中	やや小
まっしぐら	太	剛	極少	極短	白	やや密	難	中	やや小
ゆめあかり	やや太	剛	極少	極短	白	やや密	難	中	やや小
むつほまれ	やや太	剛	稀	極短	白	密	難	中	やや小
つがるロマン	やや太	やや剛	中	短	白	やや密	難	中	やや小

2. 生産力検定試験成績

1) 耕種概要

試験年度	播種月日	移植月日	本田施肥量 (kg/a)						一区面積 (㎡)	栽植密度			1株栽植本数	反復回数
			基肥量			追肥量				条間 (cm)	株間 (cm)	㎡当り株数		
			N	P ₂ O ₅	K ₂ O	N	P ₂ O ₅	K ₂ O						
2008	4. 10	5. 19	0.8	0.8	0.8	0.2	—	0.2	4	24	15	27.8	3～4	1
2009	4. 9	5. 19	0.6	0.6	0.6	0.2	—	0.2	4	24	15	27.8	3～4	1

注. 中苗散播ハウス畑苗代（箱育苗）である。

2) 生育調査成績及び収量調査

系 統 名 及 び	試 験	生育調査						収量調査				
		出穂期	成熟期	稈長	穂長	穂数	倒伏 ¹⁾	全 重	玄米重	同左 標準比	屑米 重	玄米 千粒重
品 種 名	年度	(月. 日)	(月. 日)	(cm)	(cm)	(本/m ²)	程度	(kg/a)	(kg/a)	(%)	(kg/a)	(g)
ふ系PL1	2008	7. 28	9. 15	85	19. 2	478	0. 0	151	56. 7	81	3. 5	23. 6
	2009	8. 1	9. 12	82	19. 2	497	0. 0	148	58. 3	88	4. 0	23. 2
	平均	7. 30	9. 14	84	19. 2	488	0. 0	150	57. 5	84	3. 8	23. 4
(標)かけはし	2008	8. 3	9. 23	77	16. 3	495	0. 0	162	70. 4	(100)	2. 2	24. 8
	2009	8. 5	9. 17	77	16. 8	496	1. 0	158	66. 6	(100)	4. 1	23. 2
	平均	8. 4	9. 20	77	16. 6	496	0. 5	160	68. 5	(100)	3. 2	24. 0
(比)ユメコガネ	2008 ²⁾	7. 31	9. 15	74	17. 4	442	0. 0	-	-	-	-	-
	2009	8. 2	9. 15	76	17. 4	436	0. 5	142	58. 2	87	5. 7	22. 4
	平均	8. 1	9. 15	75	17. 4	439	0. 3	-	-	-	-	-
ふ系PL2	2008	8. 6	9. 28	78	17. 8	467	0. 0	172	73. 2	105	1. 8	25. 8
	2009	8. 11	9. 25	79	16. 1	472	0. 0	173	69. 9	106	3. 8	23. 0
	平均	8. 9	9. 27	79	17. 0	470	0. 0	173	71. 6	105	2. 8	24. 4
ふ系PL3	2008	8. 8	10. 2	79	18. 0	406	0. 0	166	63. 3	91	4. 6	23. 9
	2009	8. 11	9. 29	79	16. 8	461	0. 0	162	61. 2	93	5. 1	22. 6
	平均	8. 10	10. 1	79	17. 4	434	0. 0	164	62. 3	92	4. 9	23. 3
ふ系PL4	2008	8. 8	9. 27	83	17. 3	444	0. 0	170	65. 0	93	2. 6	25. 9
	2009	8. 12	9. 25	85	17. 7	503	0. 0	171	65. 5	99	2. 9	22. 3
	平均	8. 10	9. 26	84	17. 5	474	0. 0	171	65. 3	96	2. 8	24. 1
ふ系PL5	2008	8. 8	9. 27	80	17. 1	481	0. 0	168	64. 2	92	2. 3	23. 8
	2009	8. 12	9. 25	85	17. 7	503	0. 0	172	60. 4	91	4. 7	22. 3
	平均	8. 10	9. 26	83	17. 4	492	0. 0	170	62. 3	92	3. 5	23. 1
(標)まっしぐら	2008	8. 8	9. 30	77	17. 9	413	0. 0	176	69. 8	(100)	4. 0	23. 9
	2009	8. 12	9. 30	77	17. 2	457	0. 0	174	66. 2	(100)	5. 4	22. 4
	平均	8. 10	9. 30	77	17. 6	435	0. 0	175	68. 0	(100)	4. 7	23. 2
(比)ゆめあかり	2008	8. 6	9. 27	76	18. 3	439	0. 0	158	66. 2	96	5. 5	23. 3
	2009	8. 9	9. 23	74	17. 6	436	0. 0	159	61. 8	93	7. 7	21. 5
	平均	8. 8	9. 25	75	18. 0	438	0. 0	159	64. 0	94	6. 6	22. 4
むつほまれ	2008	8. 6	9. 28	75	17. 3	411	0. 0	161	72. 8	105	3. 6	24. 2
	2009	8. 10	9. 28	77	16. 0	419	0. 0	162	69. 3	102	4. 5	22. 2
	平均	8. 8	9. 28	76	16. 7	415	0. 0	162	71. 0	104	4. 0	23. 2
つがるロマン	2008	8. 8	9. 28	81	18. 9	397	0. 0	170	69. 2	99	5. 3	23. 0
	2009	8. 12	9. 27	83	17. 9	414	0. 0	166	61. 5	93	5. 9	21. 4
	平均	8. 10	9. 28	82	18. 4	406	0. 0	168	65. 4	96	5. 6	22. 7

注. ¹⁾ 倒伏程度は、0 (無) ～5 (甚) で表示した。

²⁾ ユメコガネ2008年は鼠による食害のため、収量は未調査である。

3) 品質調査成績

系 統 名 及 び 品 種 名	試験 年度	標肥区	
		玄米 品質	検査 等級
ふ系PL1	2008	5.0	2上
	2009	6.0	3中
	平均	5.5	2中下
(標)かけはし	2008	5.5	2中
	2009	5.5	2中
	平均	5.5	2中
ふ系PL2	2008	6.0	2下
	2009	6.0	3中
	平均	6.0	3上
ふ系PL3	2008	4.0	2中
	2009	4.0	2下
	平均	4.0	2中下
ふ系PL4	2008	6.0	3中
	2009	6.0	2中
	平均	6.0	2下3上
ふ系PL5	2008	6.0	2下
	2009	6.0	2中
	平均	6.0	2中下
(標)まっしぐら	2008	5.0	2上中
	2009	5.8	2上中
	平均	5.4	2上中
(比)ゆめあかり	2008	4.5	2上
	2009	5.0	2上
	平均	4.8	2上
むつほまれ	2008	5.0	2上
	2009	6.0	2中
	平均	5.5	2上中
つがるロマン	2008	3.5	1下
	2009	4.5	1下
	平均	4.0	1下

3. 特性検定試験成績

1) いもち病抵抗性

(1) 葉いもち抵抗性

系 統 名 及 び 品 種 名	推定 遺伝 子型	2008年	
		発病 ^{x)} 程度	判定 ^{y)}
ふ系PL1	<i>Pia, i, k, ta</i>	4.5	ms
ふ系PL4	<i>Pia, k</i>	1k ²⁾	rrr
ヒメノモチ	<i>Pik</i>	2.3	(r)
ふ系69号	<i>Pik</i>	5.4	(s)
ふ系PL2	+	6.0	s
ふ系PL3	<i>Pia</i>	4.8	m
ふ系PL5	<i>Pia</i>	3.3	r
むつほまれ	<i>Pia</i>	3.5	(r)
陸奥光	<i>Pia</i>	6.1	(s)

注. ^{x)} 発病程度は葉いもち抵抗性調査基準による0～10の11段階。

^{y)} rrrは“極強”，rは“強”，mは“中”，msは“やや弱”，sは“弱”を示す。
()は，判定基準を示す。

²⁾ 発病程度のkは褐点病斑を示す。

(2) 穂いもち病抵抗性

系 統 名 及 び 品 種 名	推定 遺伝 子型	2008年		
		出穂 期	発病 ¹⁾ 程度 ²⁾	判定
ふ系PL2号	+	8. 7	3. 3	rr-r
レイメイ	<i>Pia</i>	8.10	4. 2	(mr)
ふ系94号	<i>Pia</i>	8.11	6. 0	(s)
ふ系PL3号	<i>Pia</i>	8. 9	3. 3	m
ふ系PL5号	<i>Pia</i>	8. 7	1. 5	r
レイメイ	<i>Pia</i>	8. 8	2. 4	(mr)
ふ系94号	<i>Pia</i>	8. 9	6. 0	(s)

注. ¹⁾ 発病程度は穂いもち抵抗性調査基準による0～10の11段階。

²⁾ rrは“極強”，rは“強”，mrは“やや強”，mは“中”，sは“弱”を示す。
()は、判定基準を示す。

2) 障害型耐冷性

系 統 名 及 び 品 種 名	2006年 ¹⁾					
	処理A(19.3℃ ¹⁾)		処理B(19.1℃ ¹⁾)		処理C(18.7℃ ¹⁾)	
	出穂期	不稔 歩合	出穂期	不稔 歩合	出穂期	不稔 歩合
	(月. 日)	(%)	(月. 日)	(%)	(月. 日)	(%)
ふ系PL1	8. 5	20.7	8. 4	19.9	8. 6	33.1
ユメコガネ	8. 2	28.9	8. 2	22.3	8. 5	76.3
かけはし	8. 6	66.5	8. 6	76.4	8. 8	77.0
はまゆたか	8. 4	41.8	8. 6	48.4	8. 8	59.3
ふ系PL2	8.11	24.1	8.10	37.3	8.13	36.3
ふ系PL3	8.12	15.7	8.11	17.1	8.14	33.8
ふ系PL4	8.15	10.8	8.13	14.6	8.16	18.0
ふ系PL5	8.11	9.7	8.12	7.4	8.14	11.1
駒の舞	8.11	48.7	8.11	43.6	8.13	63.5
コイヒメ	8. 9	52.7	8.10	55.9	8.11	72.2
いわてっこ	8.11	23.1	8.11	27.3	8.12	56.6

系 統 名 及 び 品 種 名	2007年 ¹⁾			
	処理A(19.3℃ ¹⁾)		処理B(19.1℃ ¹⁾)	
	出穂期	不稔 歩合	出穂期	不稔 歩合
	(月. 日)	(%)	(月. 日)	(%)
ふ系PL1	7.28	18.8	7.27	35.4
ユメコガネ	7.23	15.8	7.25	37.6
かけはし	7.28	37.6	7.28	90.5
はまゆたか	7.28	22.7	7.29	69.6
ふ系PL2	8. 3	20.9	8. 4	48.6
ふ系PL3	8. 6	14.6	8. 5	26.2
ふ系PL4	8. 7	15.8	8. 6	21.1
ふ系PL5	8. 3	9.2	8. 4	17.2
駒の舞	8. 4	29.7	8. 5	54.1
コイヒメ	8. 2	34.4	8. 4	59.4
いわてっこ	8. 4	19.6	8. 6	42.9

系 統 名 及 び 品 種 名	2008年 ³⁾					
	処理A(19.2℃ ³⁾)		処理B(18.9℃ ³⁾)		処理C(18.6℃ ³⁾)	
	出穂期 (月. 日)	不稔 歩合 (%)	出穂期 (月. 日)	不稔 歩合 (%)	出穂期 (月. 日)	不稔 歩合 (%)
ふ系PL1	8. 4	14.9	8. 3	18.1	8. 3	19.2
ユメコガネ	8. 1	25.6	8. 2	25.0	8. 4	38.7
かけはし	8.11	89.0	8.10	85.0	8.12	99.8
はまゆたか	8. 9	59.9	8. 7	51.3	8.11	85.6
ふ系PL2	8.15	83.9	8.14	72.0	8.18	95.9
ふ系PL3	8.18	78.8	8.18	69.5	8.19	98.0
ふ系PL4	8.19	40.7	8.18	29.4	8.21	68.3
ふ系PL5	8.17	18.8	8.16	15.8	8.18	42.4
駒の舞	8.15	97.8	8.15	94.1	-	-
コイヒメ	-	-	-	-	-	-
いわてっこ	8.16	87.4	8.16	78.3	-	-

系 統 名 及 び 品 種 名	2009年 ³⁾					
	処理A(19.1℃ ³⁾)		処理B(18.9℃ ³⁾)		処理C(18.6℃ ³⁾)	
	出穂期 (月. 日)	不稔 歩合 (%)	出穂期 (月. 日)	不稔 歩合 (%)	出穂期 (月. 日)	不稔 歩合 (%)
ふ系PL1	8. 4	17.7	8. 4	26.2	8. 2	24.0
ユメコガネ	8. 2	27.7	8. 1	39.2	-	-
かけはし	8. 6	61.0	8. 6	87.2	8. 6	85.2
はまゆたか	8. 6	54.8	8. 6	79.9	8. 4	65.1
ふ系PL2	8.12	38.5	8.12	63.3	8.13	76.6
ふ系PL3	8.12	23.0	8.14	46.5	8.14	65.5
ふ系PL4	8.17	14.6	8.14	25.9	8.17	29.1
ふ系PL5	8.14	14.0	8.15	12.6	8.13	15.7
駒の舞	-	-	-	-	8.13	89.6
コイヒメ	8.11	71.2	8.11	80.2	8.10	93.8
いわてっこ	8.12	30.1	8.14	52.5	8.14	73.1

系 統 名 及 び 品 種 名	2006～2009年平均 ³⁾						2006～2009年 総合平均 ³⁾		評 価 ²⁾
	処理A(19.2℃ ³⁾)		処理B(19.0℃ ³⁾)		処理C(18.6℃ ³⁾)		出穂期	不稔 歩合	
	出穂期 (月. 日)	不稔 歩合 (%)	出穂期 (月. 日)	不稔 歩合 (%)	出穂期 (月. 日)	不稔 歩合 (%)			
ふ系PL1	8. 2	18.0	8. 2	24.9	8. 5*	26.2*	8. 3	23.0	rr9
ユメコガネ	7.31	24.5	7.31	31.0	8. 5*	57.5*	8. 1	37.7	rr
かけはし	8. 5	63.5	8. 5	84.8	8. 6	87.3	8. 5	78.5	r
はまゆたか	8. 4	44.8	8. 4	62.3	8. 8	70.0	8. 5	59.0	rr
ふ系PL2	8.10	41.9	8.10	55.3	8.15	69.6	8.12	55.6	rr
ふ系PL3	8.12	33.0	8.12	39.8	8.16	65.7	8.13	46.2	rr9
ふ系PL4	8.15	20.5	8.13	22.8	8.18	38.5	8.15	27.3	rr10
ふ系PL5	8.11	12.9	8.12	13.3	8.15	23.1	8.13	16.4	rr11
駒の舞	-	-	-	-	-	-	-	-	r
コイヒメ	-	-	-	-	-	-	-	-	r
いわてっこ	8.11	40.1	8.12	40.3	-	-	-	-	rr

注. ³⁾ 恒温深水法。処理Aは加温装置付き恒温深水圃場での低温処理、処理Bは加温装置無し恒温深水圃場での低温処理、処理Cは加温装置無し恒温深水圃場での極低温処理である。

³⁾ 処理期間の平均水温を示す。

²⁾ 平成20年度東北試験研究推進会議作物部会申し合わせによる。rは“強”，rrは“極強”，rr9は“極強9”，rr10は“極強10”，rr11は“極強11”示す。申し合わせによる熟期ごとの耐冷性検定基準は下表のとおりである。

* 2006、2008年の平均値。

(参考) 平成20年度東北試験研究推進会議作物部会申し合わせによる耐冷性検定基準

熟期 生	ランク	1 1	1 0	9	8	7
					(極強)	(強)
極 早 ユメコガネ級		—	—	ふ系PL1 (中母63)	ユメコガネ	
	かけはし級	—	—	—	はまゆたか	かけはし
早 生	むつほまれ級	ふ系PL5 (中母65)	ふ系PL4 (中母59)	ふ系PL3 (中母64)	ふ系PL2 (中母35)	コイヒメ 駒の舞
				秋田60号	いわてっこ	
早 晩	あきたこまち級	東北PL1 (古川耐冷中母81)	奥羽PL4 (羽系840)	東北155号	東北182号	こころまち イブキワセ
	ひとめぼれ級	東北PL2 (古川耐冷中母78)	奥羽PL5 (羽系841)	秋田PL1 (秋系518)	ひとめぼれ	オオトリ
中 生		東北PL3 (古川耐冷中母102)		東北187号	はえぬき	おきにいり
						もちむすめ
晩 生	ゆめむすび級	—	—	—	コシヒカリ	ハウレイ

注. 系統名の () 内は旧系統名を示す。

3) 穂発芽性

系 統 名 及 び 品 種 名	2008年		2009年		平均	
	発芽 ¹⁾ 指数	判定 ²⁾	発芽 ¹⁾ 指数	判定 ²⁾	発芽 ¹⁾ 指数	判定 ²⁾
ふ系PL1	0.7	mr-r	3.6	rr	2.2	r
ユメコガネ	1.7	(mr)	5.4	(mr)	3.6	mr
かけはし	5.9	(ms)	7.3	(ms)	6.6	ms
ふ系PL2	3.5	m	7.8	mr	5.7	m-mr
ふ系PL3	0.7	r	4.4	r	2.6	r
ふ系PL4	7.5	ss	9.3	mr	8.4	ms
ふ系PL5	8.8	ss	9.5	m	9.2	ms-s
むつほまれ	4.0	m	7.8	mr	5.9	m-mr
まっしぐら	0.5	(r)	5.4	(r)	3.0	r
ゆめあかり	2.2	(mr)	8.0	(mr)	5.1	mr

注. ¹⁾ 発芽率を達観で調査し、1 (10%以下) ~10 (90~100%) の指数で表示した。

²⁾ rは“難”，mrは“やや難”，mは“中”，msは“やや易”，ssは“極易”を示す。()は、判定基準を示す。

4) 食味

生産年 及び 生産地	系 統 名 及 び 品 種 名	総合 評価	外観	香り	味	粘り	硬さ	基準品種名	パネ ル 人 数	実 施 年 月 日
2001 藤坂	ふ系PL1 ユメコガネ	0.333 -0.167	0.167 -0.056	0.000 0.000	0.167 -0.111	0.111 -0.167	-0.167 0.333	かけはし	18名	2001.12.11
2002 藤坂	ふ系PL1 ユメコガネ	0.583* -0.500	0.167 0.000	0.000 0.000	0.250 -0.333	0.500 -0.167	-0.583* 0.167	かけはし	12名	2002.12.12
2008 藤坂	ふ系PL2 かけはし	-1.800*** -0.300	-0.700* -0.100	-0.400 0.000	-0.800* -0.200	-1.600*** -0.200	1.400** 0.200	まっしぐら	10名	2009.1.7
2008 藤坂	ふ系PL3 ふ系PL4 ふ系PL5	-0.167 -1.000** -0.417	0.000 -0.500* 0.000	-0.083 -0.167 -0.083	0.000 -0.417 -0.167	0.000 -0.833** -0.417	-0.333 0.333 0.583**	まっしぐら	12名	2009.1.13

注. ²⁾ 評価基準：-3 (極めて悪い・粘らない・軟らかい) ~0 (同じ) ~+3 (極めて良い・粘る・硬い)

*, **, ***はt検定の結果、基準品種との差がそれぞれ5%, 1%, 0.1%水準で有意であることを示す。

5) 白米のタンパク含有率、アミロース含有率及び味度

系 統 名 及び品種名	タンパク含有率 (%) ^{※)}			アミロース含有率 (%) ^{※)}			味度 ²⁾		
	2008年	2009年	平均	2008年	2009年	平均	2008年	2009年	平均
ふ系PL1	7.7	7.5	7.6	20.0	21.1	20.6	73.7	77.0	75.4
かけはし	7.3	7.8	7.6	21.3	22.1	21.7	76.0	71.4	73.7
ふ系PL2	7.4	7.3	7.4	21.7	22.7	22.2	55.3	58.5	56.9
ふ系PL3	7.6	7.5	7.6	20.1	22.0	21.1	75.5	81.8	78.7
ふ系PL4	7.2	7.4	7.3	22.1	23.5	22.8	65.1	69.3	67.2
ふ系PL5	7.6	7.7	7.7	21.7	22.6	22.2	65.7	70.8	68.3
むつほまれ	7.3	7.5	7.4	21.5	22.7	22.1	66.4	68.4	67.4
ゆめあかり	7.3	7.2	7.3	20.2	21.5	20.9	77.0	76.2	76.6
まっしぐら	7.2	7.6	7.4	20.4	22.4	21.4	78.4	78.2	78.3
つがるロマン	7.6	7.7	7.7	20.5	22.4	21.5	79.9	77.3	78.6

注. ^{※)}タンパク含有率はインフラライザー450を用いて測定した。

^{※)}アミロース含有率はオートアナライザーⅡを用いて測定した。

²⁾味度は、東洋精米機味度メーターを用いて測定した。

Ⅳ 固 定 度 実用的形質については、ほぼ固定したと思われる。

Ⅴ 配付可能な種子量 1.0kg